



やる気 元

学校教育目標：心豊かでたくましく 心身ともに健やかな鳴鼓っ子の育成

時津町立鳴鼓小学校

学校だより 第9号

平成30年12月21日

文責：校長 村井 宏之

支援ありがとうございました



平成三十年度の二学期も本日終業式を迎えました。改めて子供たちの姿を見てみると、日々の学習に加え、修学旅行、宿泊学習、なごみつ子祭り等、様々な行事をとおして、それぞれ

成長したことを感じます。

鳴鼓小学校では「響かせよう 響き合おう」を合言葉に、「あいさつ、返事、発表」と声を出すことを大切にして頑張っています。「あいさつ、返事」については、十分とは言えませんが、少しずつ子供たちに身に付いてきています。しかし、この二学期で最も成長が感じられたのは、「発表」です。これまでは、学級でも決まった子供だけが発表し、全校の場で手を挙げて発表しようとする子供はほとんどいませんでしたが、今では授業中たくさんの子供が手を挙げ、自分の考えを発表するようになりました。また、全校集会でも、自分の気持ちや考えを堂々と発表できる子供たちが増えていきます。このことが、学校全体の活気

にもつながっています。

これからの時代、知識以上に「コミュニケーション力」、発信力が必要になってきます。子供たちに、未来を生き抜く力を育てるために、これからも「声を出すことを大切にした教育」を進めてまいります。ご理解・ご協力をお願いいたします。

鬼火焚き

年々その様子が少しずつ変わっていつてはいますが、お正月は日本の大切な伝統行事です。正月飾りをし、お節料理を食べ、新年を祝います。保護者の皆様が子供の頃のお正月について、子供たちに話を聞かせてあげてください。きっと興味深く聞くことでしょう。

さて、年明けには、地区で「鬼火焚き」が行われます。「鬼火焚き」とは、九州地方の伝統行事で、正月飾り、しめ縄飾り、門松、書初めの半紙等を燃やして、無病息災を祈ります。その焚いた火は「鬼の骨」（おんのほね）と称し、その火で温まると健康で丈夫な体になると伝えられています。

左底地区は一月五日、久留里

地区は一月十三日に行われます。

しめ縄飾り等をもって親子で参加されてはいかがですか。



〇〇な証拠!

笑えるのは、楽しんでる証拠。
怒るのは、真剣だった証拠。
喧嘩するのは、一緒だった証拠。
つまづくのは、進んでいる証拠。
裏切られるのは、信じていた証拠。
「疲れた」は、頑張った証拠。
「失敗した」は、挑戦した証拠。
「もう止めようかな」は、
まだ希望を捨てずにいた証拠。

右の言葉の中にあるように、考え方が一つでその対応が随分変わってきます。親子の付き合い方にしても、ちょっとした寛容的な姿勢をもつかもたないかで、関係性が随分違ってきます。子供のつまずきや失敗においても、親が悲観的に捉えるのではなく、まず本人にさせてみる。失敗することによって気付くことが多いと思います。社会に出たときのため、失敗に対する免疫を付けさせておくことは親として重要な役目といえるのではないのでしょうか。

三学期の始業式は、一月八日です。よいお年をお迎えください。